

支部活動紹介

経営情報学会第19回学生研究論文発表会の開催報告

関西支部運営委員 仙波真二（せんば しんじ）
近畿大学経営学部

1. 概要

毎年恒例となりました学生論文発表会を関西支部の運営により2024年2月24日(土)に大阪公立大学梅田サテライトにてハイブリッド形式(対面+オンライン)で開催いたしました。この発表会は経営情報関連の研究を行っている学部、修士・博士前期課程、ならびに博士・博士後期課程を卒業または修了予定の学生に卒業論文、修士論文、博士論文での研究成果を発表する機会を与え、質疑応答を通じてよりよい研究へと発展させるための一助とし、さらに、経営情報関連分野の研究・教育の進展に資することを目的に、2005年度より年度末に開催しております。

2. 発表会について

今回は卒業論文9件、修士論文3件、博士論文2件の推薦を受け、計14件の報告が行われました。それぞれの発表者とタイトルは次のとおりです。

発表者の氏名とタイトル

卒業論文の部 (9件)

國米 雫 (芝浦工業大学 システム理工学部) データ融合によって効率化されたペルソナ分析に基づく商圈分析手法の開発
吉田鈴香 (近畿大学経営学部) 16personalities と服の嗜好傾向の関係
藤田 歩 (近畿大学経営学部) 箸先の太さが味わいに及ぼす影響についての研究
山本真帆 (静岡大学情報学部) 若環境配慮施策に関する消費者教育の実施方法とその効果検証に関する研究

内池駿介 (東京都市大学環境学部) グローバルSPA企業の経営施策の違いが業績に与える影響のシステムダイナミクスモデリング
渡邊由夏 (東京都市大学環境学部) 温泉観光地を活性化させるための新たなビジネスモデルの提案とシステムダイナミクスを用いた検討
工藤有紀 (東京理科大学経営学部) 文化観光を推進する美術館の特性に関する実証研究
細山夏那 (東京理科大学経営学部) オンラインマッチングサービスで信頼できる企業は見つかるのか?
望月暉留 (東京電機大学理工学部) 自動車販売台数データの変化点前後に対する特徴量間のグレンジャー因果分析

修士論文の部 (3件)

名越 翔 (大阪公立大学大学院情報学研究科) 小売店における顧客の購買特性に着目した購買行動シミュレーションモデル
実井貴哉 (東京都市大学大学院環境情報学研究科) 投資家向け企業開示情報に基づく社会環境変化時の企業適応行動に関する企業情報マイニング
鈴木里奈 (東京都市大学大学院環境情報学研究科) 宅配便業界のビジネス環境シミュレータの構築と仮想シミュレーション実験による社会問題解決策の検討

博士論文の部 (2件)

梶江亮介 (埼玉大学大学院人文社会科学研究所) ユーザ・ベンダー企業のITケイバリティがコア・コンピタンスと基幹系システムの適合性に与える影響
岩田 遼 (青山学院大学大学院理工学研究科) 新商品普及過程における消費者行動に関する研究

1人あたりの報告時間を卒業論文は発表10分・質疑5分、修士論文は発表15分・質疑10分、博士論文は発表20分・質疑10分と定め、研究内容についてのプレゼンテーションと活発な質疑応答が行われました(写真1, 2).



写真1 発表会場の様子



写真2 発表の様子

また、各発表者からは事前にそれぞれの論文での研究内容をまとめた予稿を4ページで作成していただき、それらをまとめた発表論文要旨集の発行も行いました。

3. 表彰式について

すべての発表が終了後、関西支部の運営委員のメンバーで構成する審査委員会によって、各発表者の予稿、発表および質疑の内容を審査し、最優秀賞、優秀賞を決定しました。各賞の受賞者は次のとおりです。

■最優秀賞

國米 雫さん(芝浦工業大学システム理工学部)

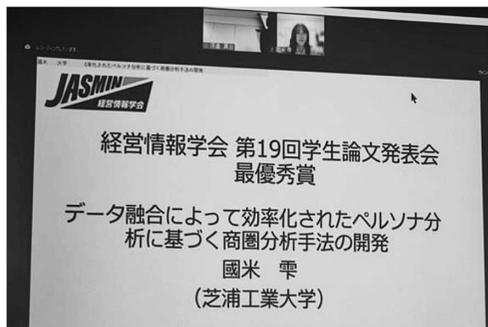


写真3 最優秀賞受賞者の國米雫さん(Zoom参加)

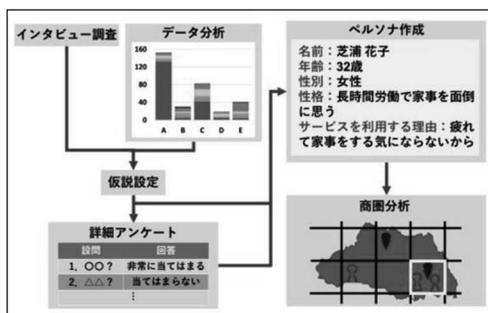


写真4 提案手法の概要(國米さんの予稿原稿より)

■優秀賞

実井貴哉さん(東京都市大学大学院環境情報学研究科)



写真5 優秀賞受賞者の実井貴哉さん



写真6 表彰式の様子(実井貴哉さん：写真右)

また、他の発表をいただいたすべての学生に対し論文賞が授与されました。

4. おわりに

最後に渡邊真治関西支部長より受賞者に対する講評とすべての発表者および参加者への謝意が表され、全プログラムを終了しました。約5時間と長時間の発表会となりましたが、最後まで参加いただきました皆さま、ありがとうございました。

本発表会は経営情報学会の研究活動の一環として実施しており、次年度も引き続き学生研究論文発表会を開催予定です。次年度も全国より多数の発表および参加のお申し込みがあることを期待しております。